

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度 第5回美幌町社会教育委員会議
開 催 日 時	令和4年1月27日(木) 18時30分 開会 19時30分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 1階小ホールA・B
出 席 者 氏 名	委 員： 牛島委員長、空師副委員長、伊藤、茂手木、寺田、宮崎、 下山各委員(7名出席) 教育委員： 加藤哲彦教育長職務代理者、小川慶子委員、大沼美紀委員、 東海政博委員(4名出席) 教育委員会： 矢萩教育長、遠藤教育部長、松尾社会教育課長(3名出 席)
欠 席 者 氏 名	伊與部委員、関谷委員、辻委員、澤田委員、國澤委員、西谷内委員 (6名)
事務局職員職氏名	野村社会教育グループ主査、山本文化振興グループ主査 (2名出席)
議 題	報告事項 (1) 令和3年度 美幌町社会教育委員の事業視察 協議事項 (1) 令和3年度 美幌町社会教育委員の研究調査 美幌町教育委員との意見交換 その他
会議の公開又は非 公開の別	公 開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	なし
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・第8次美幌町社会教育中期計画(答申案) ・課長・館長連絡事項 ・令和4年1月分行事予定表 ・びほろっ子プレイガイド1月号 ・全国社教連会報第89号 ・第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)基調講演
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

令和3年度 美幌町社会教育委員会議
(第5回)議事録

1 開 会

(牛島委員長)

皆様こんばんは。

定刻となりましたので、これより令和3年度第5回美幌町社会教育委員会議を開催いたします。本日は、大変お忙しいところお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局より報告事項がございます。

(松尾社会教育課長)

報告事項を申し上げます。

本日の会議ですが、伊與部委員、関谷委員、辻委員、澤田委員、國澤委員、西谷内委員より欠席のご連絡をいただいております。また本日は後ほど美幌町教育委員の皆様との意見交換を予定しており、加藤教育長職務代理者、小川委員、大沼委員、東海委員にもご出席いただいておりますので、よろしく願いいたします。

本日の会議は、美幌町自治基本条例第11条の規定に基づき、公開で実施いたします。

次に本日の会議の議案と資料の確認をさせていただきます。先に送付いたしました議案と資料の方はお持ちいただいておりますでしょうか。この他に本日の配布資料といたしまして、課長・館長連絡事項、行事予定表、びほろっ子プレイガイド、全国社教連会報の89号、第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)基調講演の冊子、こちら5種類の資料を机の上に置かせていただいております。

また、行事予定表につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況から中止、延期となっている事業も中にはございますので、ご了承いただけますようお願いいたします。

資料につきまして無いもの等がございま

したら事務局の方にお申し付けくださいますようお願いいたします。

以上でございます。

(牛島委員長)

はい、ありがとうございます。

2 開 会 あ い さ つ

(牛島委員長)

それでは、開会にあたりまして一言ご挨拶をさせていただきます。

改めまして、こんばんは。

1月の末になってしまいましたが、今年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、新型コロナ、オミクロン株が全国で猛威を振るっております。今日の北海道の感染者は、2,852名と発表されております。その影響は、美幌町にも及んでおります。私たちの出来る感染対策をしながら、なんとか自分も含めてかからないようにしなければならぬなど、このように思っているところでございます。早くコロナが収まることを願うばかりです。

そのような中、明るいニュースもございます。皆さんもご存じのとおり、2月4日に開会されます北京冬季オリンピックに、美幌町出身でありますスケートの一戸さん、クロカンの石田さんが日本を代表して出場されます。スポーツ協会と教育委員会では、パブリックビューイングなども予定されているようですけれども、コロナの関係もありまして縮小して開催するようなことを聴いております。伊藤さん、この後よろしく願いいたします。

本日は教育委員の皆様にご出席をいただき、この後会議を進めてまいります。会議の最後に教育委員の皆様との意見交換もありますので、この後よろしく願いいたします。お世話になります。

(牛島委員長)

次に、教育委員会矢萩教育長よりご挨拶をいただきます。

(矢萩教育長)

改めまして、皆様お晩でございます。そして、今年もどうぞよろしくお願いいいたします。

本日は、足元の悪い中そして夜分寒い中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃より社会教育活動の実践者として色々な場面でご活躍をいただいておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。

また、猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症におきましても、日頃から感染予防対策にご協力をいただいておりますことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今日は、4名の教育委員の方々にもオブザーバーということで参加頂いています。私から紹介させていただきます。

(教育委員を紹介)

後ほど意見交換の場を設けさせていただいておりますので、そこで委員さんからお話をいただければと思っております。

本日の会議におきましても、どうぞお互いご忌憚のない意見を交わしながら、活発な会議となりますことをご期待申し上げまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいいたします。

(牛島委員長)

ありがとうございました。

3 報 告 事 項

(1)美幌町社会教育委員の事業視察について

(牛島委員長)

それでは審議に入りたいと思います。

報告事項(1)美幌町社会教育委員の事業視察を議題といたします。昨年10月から取り組んでいる事業視察の状況につきまして、各グループの代表の方からご報告をい

ただきたいと思えます。

はじめに、社会教育課から下山委員の報告をお願いいたします。

(下山委員)

社会教育課ですが、高校生リーダー養成講習会を視察させていただきました。高校生の前向きな参加者の方が、自分の将来のスキルアップに向けていろいろと学ばれている姿を見て、とても素晴らしい事業だなと感じました。

それと、びほーる演劇ひろばの方を視察予定だったのですが、まだちょっと完了していないのでこちらの方の報告は今日できないのですが、申し訳ございません。

以上になります。

(牛島委員長)

はい、ありがとうございます。

続きまして、スポーツ振興課、茂手木委員より報告をお願いいたします。

(茂手木委員)

はい、報告させていただきます。

10月11日にスポーツ振興課のスポーツ担当でボルダリングの初心者指導者研修を行って、その視察をさせていただきました。皆さん、これから指導されるという方たちなので、一生懸命先生のお話を聞いていただいて、報告書にも書かせていただきましたけれども、多少時間は伸びたのですが、指導者の熱心さが伝わっていると感じました。

もう一つが、AKBスポーツチャレンジの柔道・相撲、これを視察しようとしたのですが、日程が先方の都合で1週間伸びてしましまして、こちらもちょうど都合がつかなくなったものですから、こちらの視察は行っておりません。

ひとつだけでした。以上です。

(牛島委員長)

ありがとうございました。

次に博物館課。辻委員から報告をお願

いしたところですが、欠席ですので、野村主査よりご報告をお願いいたします。

(野村社会教育グループ主査)

はい、博物館課の事業視察をしておられる3名の委員が今日欠席ということで、代わりに私の方から報告をさせていただきます。

博物館課につきましては、10月30日に博物館講座(自然編)で、「樹木治療の現場を見てみよう」ということで、保存樹木になっている美幌小学校のかしわの木の治療の現場を、西谷内委員と辻委員の2名が視察されております。

それと、12月25日にプチ工房「しめ縄づくり」を事業視察予定されまして、こちらは、都合により辻委員お一人が事業視察されたとお聞きしております。

それで、当初予定になかったのですが、今月1月8日に同じくプチ工房の「スノードームづくり」が開催され、こちらの事業に西谷内委員が事業視察で実際に参加されたとお聞きしております。

博物館課の事業視察については以上でございます。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

次に図書館課、宮崎委員よりご報告をお願いいたします。

(宮崎委員)

図書館グループの宮崎です。

11月6日に開催されました英語とあそびに3名参加してまいりました。AETのカトリナさんが主となって、本物の英語を約20名から30名の親子の方に、生の英語で絵本の読み聞かせをされていました。とても、子供たちが違和感なくカトリナさんと接しているところが、一番印象に残りました。

レコードコンサートの方は、私ちょっと不参加なのですけれども、2名の方が参加されたとお聞きしております。あと、これ以外に急遽視察ですね、柰師委員と私の方で

東陽小学校の図書室などを視察に行きまして、今の学校図書環境を拝見させていただいたり、本当に教育委員会との連携がかなり取れているなあというところを拝見させていただきました。

勉強になりました。ありがとうございます。

(牛島委員長)

はい、ありがとうございました。

それぞれの課における視察報告をいただきました。ただいまの報告につきまして委員の皆様からご質問等ありましたらお願いいたします。

追加の感想等ありませんか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、以上で報告事項(1)美幌町社会教育委員の事業視察についてを終わります。

4 協議事項

(1) 令和3年度美幌町社会教育委員の研究調査について

(牛島委員長)

次に協議事項に入ります。協議事項(1)令和3年度美幌町社会教育委員の研究調査を議題といたします。

今年度はご存知のとおり第8次美幌町社会教育中期計画の策定を研究調査に位置付け取り組んでまいりましたが、12月の策定委員会議以降の作業について正副委員長と事務局に一任されましたので、本日は事務局より修正が加わった答申案の内容についてご説明をいただいた後、皆様方よりご質問、ご意見を賜りたいと思います。ですので、よろしくをお願いいたします。

それでは、事務局お願いいたします。

(野村社会教育グループ主査)

はい、それでは先にお送りいたしました第8次美幌町社会教育中期計画の答申案ということで、皆様今日お持ちいただいていますでしょうか。そちらをご覧くださいな

から説明をしたいと思います。

昨年の12月22日に策定委員会議を開催いたしました。答申案の原案についてお示しをさせていただきました。その結果、概ね当初の案でご承認をいただきまして、先ほど委員長からお話がありましたとおり、今後の作業につきましては正副委員長と事務局の方に一任をいただいたというところでございます。

本日は、その策定委員会議以降修正を加わったところを中心にご説明をさせていただきます。皆様に内容のご審議を頂戴したいというふうに思っております。

教育委員の皆様につきましては、今回初めてご覧いただく答申案ということになるかというふうに思いますけれども、一応、事前に送らせていただいておりますので、ご一読いただけているものと思っております。この後説明を進めさせていただきますと思います。

それでは、具体的に何がどう変わったのですかというところについて説明をしたいと思います。

大きくは3点あります。

まず1点目は、大事な部分だったのですが、中期計画の第1章なのですが、具体的なページでいうと3ページになります。

前回の答申案では含まさってなかったのですが、社会教育委員の皆様は毎年積み上げていただきました単年度評価を5年間総括する形の分析と言いますか、そういったものの記載が前回の答申案で抜けておりました。そのことから、3ページの大きな2番目、本町社会教育の現状と問題というところから、4ページのそれぞれの第7次の推進目標の現状と問題点ということで、社会教育委員の皆様からいただいた単年度評価を事務局の方で分析をさせていただきます。それぞれの推進目標に対する現状と問題点について記載を追加させていただきます。

続いての修正は、第2章になります。具

体的に言うと12ページをご覧いただきたいと思っております。

12月の答申案では、掲載がこれも無かったのですが、美幌町教育委員会の組織機構をここで掲載をさせていただきました。といいますのは、この社会教育中期計画自体の推進をしていく課がどういったところかというところを図できちんと示して、それぞれの課でどういう業務を行っているのかということを示したうえで、この推進目標を取り進めていきますよというような形で、組織機構を明示したというところを追記させていただいております。

それと、第5章、具体的には34ページからになりますけれども、これが中期計画の肝といいますか策定委員の皆様は計画策定に寄せる思いということで、こうした思いを背負ってこの答申案が成り立っているというところで、前回空欄だった部分があるのですが、原稿執筆をお願いした委員さん全ての方から原稿をいただき、34ページ以降にその原稿を載せさせていただきましたというところが大きな変更と修正点です。

あと、この他に前回の計画案から文言の整理だとか、そういった細かい部分の修正・加筆を加えさせていただきます。前回の会議でお約束した通り、事前に送付することができたというところがございます。

以上、前回の答申案からの修正・変更点についてご説明をさせていただきました。皆様のおかげをもちまして、ここまで来ております。最終的な審議ということに今日はなるかと思っておりますけれども、皆様にご審議をいただいて答申に向かっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。説明の方は以上でございます。

(牛島委員長)

説明ありがとうございました。

変更点、説明、3点ございました。委員の皆様から、どこからでも結構です、ご質問やご意見いただければなと思っております。教育委員の皆様からも、ございました

らどうぞご質問いただきたいと思います。

いかがでしょうか。

どうですか。それぞれの課において議論を重ねて作り上げた中身なのかなと、12月にも感じましたけれどもそのように思っております。いかがですか。

ご承認いただけたということで、作り上げさせていただけますでしょうか。

ありがとうございます。

ご承認いただいたものと思います。

教育長から諮問を受けて、今月、1月末日が諮問の締め切り日ということで報告を準備しておりました。皆様方の気持ちを受けまして、私の方から教育長の方に答申をさせていただきたいと考えております。

社会教育委員13名、策定委員21名、合計34名の心のこもった答申かなと思っております。

それではこの後、教育長に策定されました中期計画の答申案をお渡ししたいと思います。私たち策定委員一人ひとりが議論を重ねて作り上げた素晴らしい中身だと確信しております。この計画は推進されることにより社会教育活動について、美幌町がさらに発展できますことを願っております。どうぞよろしく願いいたします。

<教育長へ答申書手交>

(矢萩教育長)

ただいま牛島委員長から答申案をいただきました。

一昨年の9月に私から諮問をさせていただき、この委員会での調査研究を踏まえて、昨年7月に策定委員会議を設置し、全体、さらには4つの部会で現状、課題を認識され、どのように目標推進のための具体的な取り組みを進めて行くか等々について議論を重ねていただいたところでございます。改めまして、この間のご尽力に心から感謝申し上げます。

答申案には計画策定に寄せる想いとして、正副委員長、そして4つの部会の方々から熱い想いが綴られており、議論の過程

が目に見え、教育行政を執行していく者として身の引き締まる思いであります。

この計画案を今後開催されます美幌町教育委員会で提案して、本日お越しいただいております4人の教育委員さんとともにご審議賜り、成案化、そしてしっかりと取り組みを推進してまいりたいと思うところであります。

本当にありがとうございました。

(牛島委員長)

教育長ありがとうございました。

以上をもちまして、協議事項(1)美幌町社会教育委員の研究調査についてを終りたいと思います。

5 意見交換

(1)美幌町教育委員との意見交換

(牛島委員長)

次に美幌町教育委員との意見交換に入ります。

本日は教育委員の皆様においでをいただき、この後意見交換をお願いしたいと思います。

この件に関しましては、矢萩教育長より説明と進行をお願いいたします。お世話になります。

(矢萩教育長)

それではこれからの部分は私から説明をさせていただきたいと思います。

昨年はコロナ禍ということで実施できませんでしたが、教育委員さんと社会教育委員さんとの意見交換の場を今年度設定させていただきました。

こうした意見交換の場といたしますのは、私どもとしましても非常に大事なことと考えております。

教育長と教育委員は、町長と懇談することが法的に定められております。それは「総合教育会議」という場があり、町の教育施策に対し教育委員として町長に意見を申し

出いただいているところであります。

同じように教育委員会に対して、社会教育委員の方々は意見することができる制度となっております。こうした中で、教育委員の皆様そして社会教育委員の皆様には、これまで会議等で様々なご意見をいただいているところであります。

本日は、今答申いただきました第8次となります社会教育中期計画の策定にあたり、社会教育委員さんや策定委員さんの皆様の熱心なご議論を何度か聞かせていただきましたけれども、今回の答申を受けて教育委員の皆様から計画について率直に感じられたこと、更には社会教育委員の皆様への期待、また今後の社会教育活動の中で意識して頂きたいことなど、どんなことでも結構でございますので一言ずつ頂戴できればと思います。

発言は座席順に加藤職務代理者から小川委員、大沼委員、東海委員の順にお願いしたいと思います。

それでは、加藤職務代理者よろしいでしょうか。

(加藤教育長職務代理者)

お晩でございます。職務代理者の加藤でございます。

こちらの答申案の方を見させていただきました。この度は第8次ということで、答申案を策定する前の早い段階からこの教育委員会、社会教育委員会議の中で検証していく、そういった話もお聞きしました。そして、それが今になってみると、このコロナ禍にあって、策定期間を長くみたことが、より良いものをじっくりと作る、そういった糧になったかなと思っています。皆様方も前回あたりから視察を通して様々な分野の事業をご覧になるようなことになっていると思います。そのことが盛りだくさんに含まれたこの内容の中に、そういったものを背景として作られたものなのかなというふうに思っております。

また、前回に比べましてこの度の推進目標、3つの推進目標が設定されましたけれ

ども、これについても前回に比べて、本当に端的な言葉で表現されているなど思っているところに文章を見ますと、このことを意識して作られたということが書いてありました。

推進目標の中にも多様性という言葉が出てきております。多様性という言葉については比較的新しいのかなと思いますが、多様化する社会ということは何十年も前から言われてきていると思います。

社会教育は本当に守備範囲の広いところだと思います。子どもから成人層、そして高齢の方々まで本当に幅広い方々を対象にするところでもありますから、それを網羅して、その上で多様化している社会の中で何をしていくかということが本当に大変になってくると思います。

ある意味、言えば、表現が前回に比べると抽象化したかなというところもあるかと思えますけれども、それだけ多様性、多様化というところでは対応しやすくなるのかなという感じもします。ただ、その分、取りまとめをする部分においては本当に大変な作業がこれからあるのかなと思えますけれども、この第8次というものを実践していく中で、その辺のところもしっかりと踏まえて評価していただければと思います。

まだこれからも視察等があると思いますし、その中を通してどういう活動をされているのかということ、皆さんそれぞれが社会教育の現場の中で活動されている皆さんですので、その活動を通して他の分野の活動のこともしっかりと見ながらご自身の活動の中に活かしていただきたいと思えますし、この新しい中期計画というものを皆さんの活動の中に落とし込みながら、皆さんは特に意識をして進めていただきたいと思えます。それと皆様方の仲間の中にもこのことを落とし込みながら、中期計画というものを実践していただきたいなと思えます。

皆さん本当に実践者でございますので、そのことをフルに活用していただいて、これからより良い社会教育活動がこの美幌のま

ちでできるように、そして美幌の社会教育活動はこれは他の町村と比べても本当に遜色のない、というか誇れる活動をなさっている。その成果もはっきりと出ていることがたくさんありますので、そのことをこれからも続けて、美幌の町というものをこのオホーツクの注目の町として活躍をしていただければなどそのように思います。

本当に長い時間をかけての策定ということでお疲れ様でした。本日も遅い時間からの開催となりましたけれどもお疲れ様でございます。今後ともどうぞご活躍のほどよろしく願いいたします。

(矢萩教育長)

それでは、小川委員。

(小川教育委員)

この度は、社会教育委員の皆さんの熱い会議に同席させていただきました、とても嬉しくまた心強く思っております。ありがとうございます。

社会教育委員の皆様におかれましては、ご多用の中、各館の取り組みの単年度評価を細やかに、また問題点を鋭く炙り出していただきとても感謝しております。

時代とともに、インターネットを活用した本人から、個人からの発信という項目もあり、コロナのこの状況を大事にとらえた取り組みかと思えます。

また、各館それぞれ素晴らしい取り組みをされているんですけども、それがより良く町民の皆さんに響いていない部分があるうかと思えます。そんな、一生懸命せっかくやってくださっているのにうまくいかない部分を社会教育委員の皆さんが、町民の皆さんとの良いパイプとなって響いていけるように、これからもご活躍いただけるととても嬉しいと思えます。

そして、頂いた資料の中で、宮崎さんのご感想の中で「大切なことは私たちの意識なのかもしれません」というふうに謳ってくださっていて、本当に実際そうであるし、ま

た町民の皆さんとしては、「お役所がやってくれれば」みたいに思っておられるところもあると思いますので、そうではなくて一緒にやっっていこうねという、そういう良い言葉かなと思います。皆さんそのようにお書きになっていないけれども、同じ思いでいらっしゃると思いますので、それがより良く響いていっていただければ10年後、今の子どもたちが大きくなった時に、誇れる美幌町を残してあげられるかなと思います。

いつもお仕事がありながら各館の取り組みを見ていただき、また、コロナ禍の中で上手く進まない部分もあったかと思えますけれども、皆さんがご健康でご活躍していただきとても嬉しく思います。ありがとうございます。以上です。

(矢萩教育長)

それでは、大沼委員。

(大沼教育委員)

社会教育の皆さんが何度も協議を重ねられて、皆さんの思いが伝わる丁寧な計画を読ませていただきました。本当に感謝しております。ありがとうございます。

先ほど頂いたこの資料の中に推進目標が3つあるのですが、高度情報化された現代社会をチャンスと書いてあるのですが、その情報が正しいか正しくないかということを見極める知識や判断もこれから子どもには大変必要になってくると思いますので、4つ課があるのですがそれぞれ目標を同じにして頑張りたいと思います。

二つ目のふるさとの魅力を受信・発信とあるのですが、やはり、ふるさとは美幌高校なくしては語れないないつも思っています。今日公立高校の出願状況が発表されましたが、美幌高校の倍率よりも大空高校の倍率を見たときに「こんな近くで頑張っている高校がある。ならば、美幌高校もまだまだ頑張れる。」とすごく感じました。美幌高校の魅力を発信しながら、いろいろな情報を町民の皆さんに発信していた

できればありがたいと思います。

目標3つ目の多様性を尊重した学びの中で、人々の持つ多様性ととも、今、各家庭の子育てや教育がすごく多様化しています。そんな中で、またこの4つの課で同じ目標に向かって頑張っていたきたいなと思います。本当にありがとうございました。

(矢萩教育長)

それでは、東海委員お願いします。

(東海教育委員)

就任して日が浅いものですから勉強不足で、ここで話させていただくことも大変おこがましいと思うのですが、少し話させていただければ…

こうして、初めて社会教育委員の会議に参加させていただいたのですけれども、8次の社会教育中期計画案の策定するところに関わって、大変貴重な体験をさせていただいて本当にありがたく思います。

そして、読まさせていただきましたところ、3つの推進目標を7次からの単年度評価を踏まえたなかで第8次の目標を定めたということで、加藤委員も言われていたのですけれども、大変端的に町民にわかりやすい中身の詰まった目標であるなと思いました。

その中で、世代横断的に取り組むべきという目標に立っているということで、個人的には生涯学習はすごく大切なことだなと思ひまして、世代を超えた取り組みの内容となっているということを基に、3つの目標の中に含まれているということで、心から良いなと思います。

それに基づいて、各課の取り組みが良く取り組まれているということで、この8次の計画の企画がそれに向かって行ける道筋がしっかり出来ているかなと思いますので今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(矢萩教育長)

ただいま4人の委員さんからご意見いた

だきましたけども、社会教育委員の皆さんから私ども教育委員さん、教育委員会に対して何かありましたらお願いします。

茂手木さん、何かありましたら。

(茂手木委員)

先ほど、大沼委員さんからもお話あったのですけれども、私も美幌高校出身ということで、非常に今日の倍率を見てグッとくるような。0.4倍位でしたっけ。そういったものを見まして、私はスポーツに関わっていたものですから、やはり、各部活ですよ。本当になくなっていますよね。出来る部活が無いような状況で。こういうのを見ると非常に寂しいなと。OBとしては非常に情けないなという思いで…。

まあ、美幌高校の存続に関しては色々な会議でお話しをいただいていると思うのですけれども、更にもう一歩、何か魅力を発信できるものがあって、もっと生徒を増やして、部活も盛んにして…。何か特徴のあるものを一つでも良いので、部活でも、部活に限らず文化の方でも何でも良いのですけれども、何か特徴を持てる高校にさせていただければ、もうちょっと伸びていくのかなというのが正直な意見です。

(矢萩教育長)

今、高校の関係でご意見頂戴しましたがけれども、美幌高校は唯一の高校ということで、町を挙げて経済界、様々な自治会等々と含めまして各界各層の皆さんから委員さんになっていただいて、美幌高校振興対策協議会というのを作っていて、様々な支援をさせていただいています。

その中で高校の魅力化、魅力をどうしていったら良いのかということで、親が行かせたくなる高校ということもそうですし、子どもたちが行きたくなる高校、そういった高校にするにはどうしたら良いかということで、高校も町も協議会も一緒になって知恵を絞っている中であります。

なかなか一朝一夕で結果が出てこないところでもありますけれども、ここは引き続きし

っかりと取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

あと、委員さんの方から何か。

宮崎委員さん。

(宮崎委員)

今日はどうもありがとうございました。

この経緯なんですけれども、この3つの推進目標ですね。本当にどうやったら伝わるかということで、社会教育の方々と3、4回会議を重ねた後、言葉の一つ一つ、最後の多様性を尊重した学びについては何時間ぐらいかかりましたかね。それぐらい思い入れがあって、一つ一ついかに簡単に伝わる目標になるかということを実際に駆使して、社会教育の方、教育委員会の方が皆さんで考えた、私たちは好きなことを言って、教育委員会の方は本当に素晴らしいなといつも思っていて。町民の誇りとなる教育委員会だと思いますので。本当にバックアップしたいと思っていますので、できることは何でも町民におっしゃって欲しいなと思います。そんな感じです。ぜひ、教育委員会の皆さんの活動を応援してください。よろしくお願いいたします。

(矢萩教育長)

ありがとうございます。

今、宮崎委員さんからありましたけれども、推進目標3、ここで、「美幌町に住んでいて良かった、私の居場所が美幌町にある」というフレーズがありますけれども、ここは私も非常に染みているところであります。しっかりやっていきたいと思えます。

あと、委員さん何か。

寺田さん。よろしいですか。

(寺田委員)

今日は教育委員の皆様ありがとうございます。私も普段の会議となんとなく違った感じで少し緊張するような感じがしましたけれども、私たち社会教育委員の皆さんとの話し合いでは、こういう会議の場では割としゃべることも整理しながらやっているのです

が、その前段の会議とかコミュニケーションを取る場では、すごく楽しく和気あいあいとやっているんですよね。茂手木さんが推進役になっているんですけれども。

なので、本当に美幌町をこんな風にしたいいねとか、こんな町になったらいいよねとか、私たちに何ができるかなとか、そういう話って緊張の無い場所というかざっくばらんに話ができる場所でないといけないので、そういう場所が少しでも多くなって、そして気持ちよくいろいろな仕事、社会教育もそうですけれども、子どもたちに接する活動も、楽しくと言ったら語弊があるかもしれませんが、明るく元気に人生の楽しみを感じられるように、私たち大人の場所もそうなんだけれども、子どもたちの場所もそういうふうにしたいなと感じているんですね。

僕は、自分の子どもが3人いるんですけれども、子どもを通して学校のこととか、教育のこととか、自分も大人なので大人として子どもにどういうふうに接すべきか等、考えることが非常に多いです。

今、世の中がインターネットの時代になって、子どもたちは相当いろいろな情報を直に自分で必要とすれば得られる状況になっていると思うんですね。今、学校からGIGAスクール構想ということもあり、そういう端末が与えられているでしょうし、家にもパソコン、タブレット、スマホもそうですけれども、相当数個人的にも子どもたちがそういう情報を入れられる中で、私たちは大人として子供たちにどんな教育をしていくことが必要なのか。

やはり、少し前から変わっているような気がしています。今まで通りの大人が言うんだから間違いないよとか、そういう伝え方では今は間違いなく伝わらなくなっていますし、子どもたちも自分たちながらに自分の意思を持ち始めているので、自分の考えと学校とか大人たちと合わない、やはりそれを敏感に感じて反発したりとか、行動に出るとかいろいろとあると思います。なので、そういう子どもたちに対して私たち大人

というか学校とかですね。学校は、学校がどのようにして美幌の子どもたちを育てていったら良いかということ、私も参加したいのですが、いろいろな人たちが参加しながら、幼稚園から小学校、中学校、高校と繋げて、町の教育に対してこんなふうにしたいよねというような話し合いができる場所が必要だなというふうに思うのです。

私たちの社会教育の場所でやはりいろいろな話が出てくるんですが、子どもの話が、僕が子どもがいて子どもがいる社会教育委員ということがあるかもしれませんが、子どもの教育の話が結構熱くなる人が多いのです。その中でこの推進目標というものをみんなで話し合ってきたのですが、言葉を本当に短くまとめるということが相当大変だったと思います。

さっき宮崎さんがおっしゃったように、社会教育の担当職員の方々が相当悩まれて整理してくれたのですが、やはり短い言葉に全てを織り込むことが難しいのです。それだけ世の中が多様化しているし、大人の接し方も多様化しなければいけないし。大沼さんがおっしゃったように、子どもの進路も本当に多様化していて、僕らが当たり前のようにしてなっていた会社とか仕事とかがなくなっていく。本当に肉体労働をされている方々の仕事も場合によっては機械化されるような時代になっていますので。

本当に子どもが自分でどのように生きたいのかということ、小さいうちから、自分の心の種のようなそういう思いをどんどん大きくしてあげられるような大人、教育現場というか、そういう学校があってほしいなとすごく願っています。

なので、いつか機会があれば、教育委員さんとか教育長さんとか町長さんにいろいろ話したいなというふうに思っていることがすごく一杯あるのですが、学校についてもやっぱりちゃんと意見を出し合って話し合いができる場が必要だと思っています。今、学校運営協議会にも関わらせていただいているのですが、その学校運営協

議会を通じて少しそういうことをしたいなと思っておりますけれども、何かそういう機会がありましたらいろいろと議論させながら進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

(矢萩教育長)

ありがとうございました。

4人の教育委員さんも私ども教育委員会も、基本は「地域の子どもは地域で育てる」「子どもを中心にとらえたものの見方、考え方」というものをここはぶれずにやっていきたいと思っております。

今、寺田さんからお話のありました学校運営協議会も然りでありますけれども、またいろいろな場面で意見交換だとかそういうお話ができるがあればと思っておりますのでよろしくお願ひします。

それでは、伊藤委員さん、よろしいですか。何かあれば。

(伊藤委員)

常日頃、卒業してからすぐ自分の会社の方をやって、その仕事の合間で子どもたちとも関わりあいを持ちながらをずっとやっていたのですが、その時は確か学社融合の時代ではなくて、一般の人は学校に入ってはいけないと、学校には口を出すなどというような雰囲気の中でやっていたのが、ここに来て、今は学校の先生が非常にいろいろな面で負担がたくさん重なっていると。そういうことを考えた時に、今はすでに博物館だとか図書館だとかはもう学校との関わりがだんだん深くなってきていると思います。スポーツもだんだん関わりが深くなってきて、本当に今は学社融合の時代になりつつあるなというところで。

先生方はいずれは転勤になってしまうので、地元の人である程度カバーできるような、フォローアップできるようなことができていければ良いなと思っておりますけれども。

たまたま社会環境が、もう少子高齢化の関係でスポーツの世界でもなかなか指導

する人もだんだん少なくなってきた生徒数も少なくなってきた、なかなか難しい時代になってきているということは事実なのだけれども、そういうことがあっても学校教育と社会教育がうまく抱え合い持ちながらやっていけば、子どもたちは間違いなく素晴らしい方向に向かっていくのかなということも思っています。そんな形の中でやっていければ良いのかなと思っています。

(矢萩教育長)

ありがとうございます。

本当に、地域の子どもは地域で育てるといことなのかなと思いますね。

それでは、下山委員さんよろしいですか。

(下山委員)

下山です。いつもお世話になっております。

何をお話ししたら良いか考えながらいましたけれども、せつかくのお話ができる機会ということなので、社会教育委員としてというよりも個人的なところになってしまうのかなと思うのですけれども、やはりまちづくりというのがすごく重要なところなのかなという気がして、最近いろいろと目まぐるしい変化だとか社会情勢だとかが去年とは違うスタンダードで行くというのが毎年毎年変わっている状況で、その中で教育ないし社会活動、そのところがどう対応していくのかというのがこれもスピードが求められてくるのかなということが感じていたりするので。

かと思えば国は、国はどうか持続可能な開発、環境づくりというところで考えていくと、美幌の、先程もお話があったりするのでけれども、人口が少なくなっていくということも、それを意味してというわけではないと思うのですけれども、それを含めてそのことを考えていかないといけないのかなと思っています。

では、僕らができること、魅力があるまちづくりというのもそういう意味では必要にな

ってくるのかなと思います。人が流出しないだとか。まあ、流入して来てくれれば素晴らしいことだとは思いますが、やはり、魅力、ここに住みたいという思いをどれだけ多くの人と共有できるかというのが大事になってくるので、その中のひとつに社会教育というのが重要な場所にあるのかなと思います。僕もこの町が好きで居ますので、どの様に皆さんで認めていただいて魅力のある町にするのかということ、どうやってこの変化の激しい時代の中でやっていたら良いのかなということ、皆さんの話を聞きながら実践の中でやっていくかということが自分の中での課題なのかなというふうに思っております。まとまっていないのですけれども以上です。

(矢萩教育長)

ありがとうございます。

それでは、あとお二方。

奎師さんよろしいですか。

(奎師副委員長)

私も社会教育委員となってこの中では長く活動をしている一員で、平成23年からということになっているのですけれども、本当に名ばかりで大した仕事もしてないんじゃないかなとも思いますけれども、昔というか小川委員がいたころは、紙の上の会議で次々とページをめくって報告をどんどん聞いて実際の中身のことは全くわからななのですけれども、スポーツ、図書館、博物館それから社会教育を、5年目くらいになったのかちょっとはつきりしないのですけれども、それぞれの内容を視察することによって、それぞれのやっている事業の内容がすごくわかって、実際に私たちも身体を使って現場でいろいろなことを勉強させていただいて、それで少し社会教育委員の内容というか実際にやられていることが分かってきて勉強になったかなと思います。

それを活かして、美幌の子どもから高齢者までというところでいろいろなことに対応することによって、元気な美幌町をこれから

みんなで力を合わせてやっていきたいなどということで、視察もまだまだできていない部分もいっぱいあるので勉強しながらやっていきたいと思っています。以上です。

(矢萩教育長)

ありがとうございます。

それでは、結びに牛島委員長の方から。

(牛島委員長)

結びになるかどうかは分かりませんが。

それぞれの皆さんがお話していただいたことはその通りかなというふうに思っております。

加藤職務代理の方からもお話がありましたけれども、美幌町の社会教育委員の活動は管内的にも素晴らしい中身だと思います。それぞれの会で振興セミナーとか北見・斜網地区の研修会とかに出ているいろいろと報告することもあったのですがその中でも見劣りもしないし、美幌は管内でも本当に最先端の方を走っている活動かなと、そういうふうに思わせていただいたことには本当に感謝しております。

皆さんのお話を聞きながら考えたのですが、私も美幌は外から入って来た者ですから良く見えるのですけれども、施設も素晴らしいし、人も温かいし、いろいろな計画、町の総合計画も含めてこの社会教育中期計画も素晴らしいものが整っていると思います。

子育て、子ども中心にという話がありますけれども、ちょっと心配しているのがここ数年、美幌で生まれる子どもが非常に少ないのですよね。40、ひよっとしたら切れているのかな。40人を3つの小学校にどのように分けて子育てしていくのかなと考えた時に近い将来大きな決断をしなければならないのかなということも勝手に考えているのです。ご意見を申し上げるにはちょっとはばかるので沈黙しておりましたが、今日はこのような機会をいただきましたので、そこは

大きな決断を何処かでしなければならないのだろうなあと。他人事のように、本当は自分の事なのだと思うのですがけれども、思っております非常に心配しております。

子どもが減るとやっぱり町に元気がなくなりますよね。今居られる方は、非常に力もあって素晴らしい方が沢山美幌にはいるのですよね。人材は沢山のいるのですが、肝心の子どもが少ないというのが本当に残念というか、本当にどうしたものかなあと。

下山委員からもありましたけれども、やっぱり魅力ある町を作って、子育てしやすい美幌町という環境を更に整えられたらいいのかなと。先進的なところありますよね。旭川の方の東川町とかそれから東神楽町とか。沢山のいるのですが、やはりお金を投資して子どもを育てやすい環境をいろいろと工夫をしてやっていく。まずは未来の町を作っていくという。

美幌町を、私たちの後を引き継いでくれる子どもたちを育てられるように、多くの子どもたちを育てられるような環境等々が整うと、更に美幌町としては管内に誇れる美幌町になるのかなというふうに思っております。なかなか難しい問題はたくさんありますが、教育行政の中でできることがあるのであればやはり大きな決断をしながら進んでいかなければならないのではないかなと。すみません、年ばかり取っているので、心配ばかりしているのですけれども、そのようなことを考えております。

今日はありがとうございます。正直な意見を言わせていただきました。

(矢萩教育長)

ありがとうございました。

ただいま社会教育委員さんのご意見もいただいたところですが、社会教育委員さん、教育委員さんは日頃から様々な活動をされており、沢山の視点からご意見をいただき本当にありがとうございました。

皆様の発言には、私も教育行政を進めていく上での非常に大きなエッセンスが散りばめられていると感じているところであ

ります。

教育行政をしっかりと少しでも前へ進めていくために、これからも知恵を絞り、汗を流していきたいと思っております。

私自身も教育は人づくり、人づくりはまちづくり、故に教育はまちづくりそのものである、こういった思いで日々の教育行政の執行に取り組んでいるところであり、第7次の中期計画、そして今回答申いただきました計画案の基本目標でもあります「夢を育む体験、温かい人をつくるまちづくり」これらの実現に向けてもしっかりと進めて参りたいと思っております。そのためにも社会教育委員の皆さんの役割は重要であります。

今後より大きなご支援をいただければと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

なかなかまとまりのないところだったのですけれども、皆さんから貴重なご意見をいただきました。以上で意見交換の方を閉じさせていただいてもよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、再び牛島委員長の方にタッチしたいと思います。

(牛島委員長)

大変ありがとうございました。

教育長の司会のもと、それぞれ教育委員の皆さん、社会教育委員の皆さんから色々な意見をいただけたなと思っております。必ずやこのことがいろいろな形で実っていくことを願っているところでございます。

6 その他

(牛島委員長)

それでは、次にその他に入らせていただきます。

はじめに各課課長・館長からの連絡事項ですが、お手元に配布されております各課課長・館長連絡事項に記載の内容の通りでございますので、ご一読いただくことで連絡に代えさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

何かこの書かれていることにつきまして

ご質問等ありますか。

ありませんか。ありがとうございました。

最後に次回会議の日程について、事務局より報告をお願いいたします。

(松尾社会教育課長)

本日は、長時間にわたり会議にご出席いただきましてありがとうございます。

次回会議につきましては、3月25日金曜日、マナビティーセンターでの開催を予定しております。3月25日金曜日18時30分から、会場がマナビティーセンターになりますのでよろしくお願いいたします。

次回会議におきましては、令和3年度社会教育関係各課の事業実績報告と第7次美幌町社会教育中期計画の単年度評価ということで、第7次計画最後の評価作業となります。初めて取り組まれる委員さんもおられますので、次回会議で改めて説明をさせていただく予定です。次回会議の案内文書等につきましては、後日別途送付させていただきますので、引き続き皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。以上でございます。

(牛島委員長)

次回会議は3月25日金曜日マナビティーセンターでございますのでよろしくお願いいたします。

本日は長時間にわたり、慎重な審議、また貴重な意見交換をさせていただきましてありがとうございました。社会教育委員力を合わせて活動を推進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和3年度 第4回美幌町社会教育委員会会議を終了いたします。本日は大変ありがとうございました。

【閉 会】